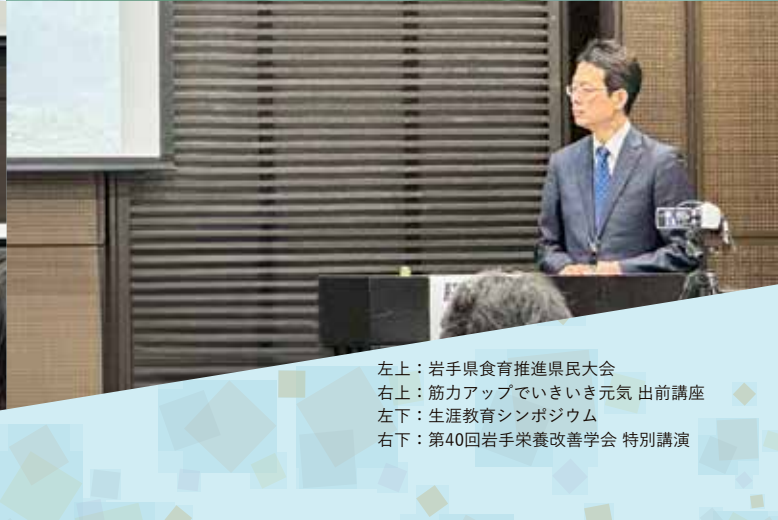


栄養 いわて



左上：岩手県食育推進県民大会
右上：筋力アップでいきいき元気 出前講座
左下：生涯教育シンポジウム
右下：第40回岩手栄養改善学会 特別講演

INDEX

- 会長挨拶
- 大阪・関西万博レポート
- 受賞者のご紹介
- 筋力アップでいきいき元気 出前講座
- 健康的な食事サポート環境整備事業
- 東北栄養士会合同 JDA-DATスタッフ養成研修会
- 医療・福祉職域合同研修会
- 学校健康教育職域研修会
- 栄養の日 活動報告
- 活躍する管理栄養士・栄養士

[発行] 公益社団法人岩手県栄養士会
[責任者] 吉岡 美子
〒020-0021
岩手県盛岡市中央通3丁目11-6
グランディール中央
TEL.019-625-3706 FAX.019-625-3707



会長挨拶

公益社団法人岩手県栄養士会
会長 吉岡 美子

皆様には、日頃より栄養士会活動に対し、ご支援、ご理解をいただき、心より感謝申し上げます。

この1年は「連携」と「発信」を軸に活動を展開してまいりました。9月に開催した東北4県合同のJDA-DAT研修会をはじめ、11月の県民公開講座（岩手県看護協会等主催、3職種共催）ではシンポジウムを開催いたしました。このシンポジウムでは、リハビリテーション専門職や訪問看護師と共に各現場の課題を共有し、多職種連携のあり方を再考する貴重な機会となりました。参加者より寄せられた「管理栄養士の役割を理解できた」という声は、私たちの活動の重要性を改めて示すものであり、大きな励みとなっております。

令和7年度の最優先課題は「認定栄養ケア・ステーション」の再整備です。現在、岩手県は全国で唯一の未設置県という状況にあります。これを機に来年度の開設に向けた準備を加速させております。また、在宅での療養者や要介護者の栄養ケアサービスに対応する人材の需要も高まっております。生涯教育研修会では「在宅における管理栄養士・栄養士の食支援」をテーマとしたシンポジウムを行い、県内で活躍中の3名の方に活動紹介をしていただきました。在宅訪問栄養食事指導認定管理栄養士の認定資格保持者が増えることも期待しております。

2026年は、60年に一度の「丙午（ひのえうま）」の年です。力強いエネルギーをもって、岩手県栄養士会の活動がさらなる発展を遂げる1年にしていきたいと思います。引き続き、皆様の温かいご協力を心よりお願い申し上げます。

EXPO2025 大阪・関西万博レポート

地域活動職域会 北湯口 美和子

昨年、大阪市夢洲で開催された国際博覧会「大阪・関西万博」に行く機会をいただきました。猛暑の8月5・6日、全国から栄養士会会員が大阪ヘルスパビリオンに集まり、岩手からは吉岡会長と私が参加しました。目的は、日本栄養士会が“未来の栄養・食”をテーマに展開した2つの企画に参加することです。

1つは屋内のデモキッチン、全国都道府県栄養士会による「未来に残すべき和食」として、フードモデル化した郷土料理や伝統料理の展示、岩手からは「ひつつみ汁」を紹介いたしました。ほかに、「100歳までに食べる健康な食事のオブジェ」の展示やソフト食のデモンストレーションが行われていました。

もう1つの企画は、屋外のリポンステージにおいて「アジア栄養士フォーラム2025」と「未来の食のシンポジウム」です。アジア12か国の栄養士の活動や栄養課題についての発表。肥満の増加や専門職不足は各国共通課題のようですが、専門職の地位や活動内容は様々で興味深い内容でした。「未来の食のシンポジウム」の病院食の未来については、現役栄養士に聞いてもらいたいホットな内容でした。

また、大阪・関西万博にてポルトガル館のレストラン統括を務められた、遠野市出身のワインソムリエ・松田宰氏を訪ね、郷土出身者の目覚ましいご活躍を直接拝見することができました。

今回、貴重な体験の機会をいただきありがとうございました。栄養士会員として、OUTPUTしていけたらいいなと思います。



展示した「ひつつみ汁」のフードモデルは
日本栄養士会より栄養士会に寄贈



栄養指導業務功労者 上栞 智佳子

この度、岩手県栄養士会長様からのご推薦により、全国栄養改善大会において栄養指導業務功労者として厚生労働大臣表彰という名誉ある賞を賜り、身に余る光栄と感謝しております。これまで本当に多くの皆様からご支援頂きましたことに、心より御礼申し上げます。

今回の受賞につきましては90代の両親や家族も大変喜んでくれ、少しは恩返しが出来たかなと思っています。二戸市を退職してからは新たな職についていないため、本格的に栄養指導する機会は少なくなりましたが、今の自分のペースに合わせてジュニアアスリート育成のサポート、「子ども食堂」でのボランティア活動、地域でのイベント参加などで管理栄養士として社会との繋がりを保ち続けています。

今後も赤ちゃんから高齢者まで全ての世代の食について知識を深め、岩手県栄養士会の一員として微力ながらも貢献できるよう頑張りたいと思っています。



栄養指導業務功労者 工藤 晃子

栄養士会の皆様から温かなお言葉をかけていただき、その励ましが心の支えとなりました。諸先輩方には実務上の悩みにも親身に寄り添い、ご助言をいただき、そのおかげで今日まで勤め続けることができた実感しております。

平成20年に特定健診・保健指導制度が始まり、管理栄養士に高い指導力が求められるようになったことが、私にとって栄養業務の転機でした。確かな指導力を身につけるため全国の栄養士が研鑽を重ね、管理栄養士が社会に認められる存在になったと感じております。私自身も、試行錯誤しながら特定保健指導に取り組んだ日々が最も印象深い思い出です。軽米町では今年度、新たに2名の管理栄養士を迎えました。今後も世の中の動きを的確に捉え、栄養士会の仲間と共に歩んでいきたいと思っております。



栄養改善事業功労者 山崎 久美子

この度、厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。岩手県栄養士会医療職域理事として10年活動させていただいたことにより、岩手県栄養士会長よりご推薦いただき、栄えある賞を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

岩手県立病院の先輩から引継いで医療職域理事になり、岩手県栄養士会と岩手県立病院栄養管理科を繋ぐ立場を意図して活動してきました。広報担当、岩手県食形態分類標準化推進委員会委員、(公社)日本栄養士会医療職域地区リーダー研修会への参加等、経験しました。その都度、先輩方や周りの皆さまに支えていただいたおかげで、今の私がいます。これから、少しでも恩送りをして、貢献していこうと思っております。



岩手県保健医療功労者 高橋 京子

この度の岩手県知事表彰にあたり、ご推薦くださいました会長様をはじめ、日頃より温かく支えてくださっている会員の皆様に、心より感謝申し上げます。

令和3年3月、コロナ禍の中で保健所を定年退職いたしました。これまで、市町や関係機関の皆様と力を合わせ、健康づくりや栄養改善事業に取り組んでまいりましたが、退職前の二年間は多くの事業が中止となり、残念な思いも残りました。そのような中、令和4年から県南地区の理事として活動の場をいただき、地区の皆様とともに、和やかな雰囲気の中で、「栄養の日」の活動を実施することができました。これからも、微力ではございますが、地域の皆様のお役に立てるよう、健康づくりと公衆衛生の向上に努めてまいりたいと思っております。

日本栄養士会顕彰 栄養橋寿会員・50年、25年等業務功労者 おめでとうございます

〔栄養橋寿会員〕 佐藤 康子

〔50年業務功労者〕 高橋 ツエ・東野 真理子

〔25年等業務功労者〕 阿部 訓子・阿部 華子・泉山 和子・小原 加奈子・角 泰子・金浜 晃代・菊池 絵美・工藤 恭子・佐々木 睦・千葉 聖子・蛇口 真理子・前田 めぐみ・渡邊 美穂

(敬称略)

MCA ~快適な環境を提案します~

CXS シーバイエス(株)代理店

エーワメテック株式会社

本社 〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通15番20号
TEL 019-651-0576(代) FAX 019-654-2512

優れた人材と、より良いシステムの提供を目指して

Aid 株式会社 システムエイド
System Aid CO.,LTD

システム開発	アウトソーシング
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養管理システム (Mects) ・介護保険業務支援システム ・預り金管理システム ・物品管理システム ・電子カルテシステム ・医事会計システム 	<ul style="list-style-type: none"> ☆オペレーター派遣 ☆業務委託 ・医事会計業務 ・クラーク業務 ・システム管理 ・物品管理業務 ・中材、滅菌業務 ・ヘルプデスク

http://www.system-aid.co.jp
岩手県盛岡市三ツ割四丁目2番8号
TEL 019-661-6461 Fax 019-661-6463

筋力アップでいきいき元気 出前講座

健康長寿のためには、元気なときからの「身体活動」「栄養」「社会活動」がフレイル予防の三本柱とされています。中でも、今回は、特に身体活動に重点を置いた事業を実施しました。身体活動（生活活動・運動）に関する正しい知識を持ち、自分の身体組成（体重、体脂肪、筋肉量等）を知り、身体活動と食生活について意識を高めることを目的としています。

特に、「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」に新たに入った「座位行動」について、行動変容の研究分野の第一人者でもある早稲田大学教授岡浩一郎先生に講師をお願いしました。

事後アンケートは高評価であり、特に早稲田大学・岡先生の講義は、「とても参考になった(76.8%)」「参考になった(21.9%)」であり、今後の行動変容につながる成果が得られました。

参加者の平均年齢は男性70.9歳、女性73.0歳であり、BMIは男性23.4、女性21.7であり、同年代の目標範囲(21.5~24.9)内でしたが、県北が平均より高く、県央が低いという状況で、地域により差がみられました。今回の参加者は身体活動に関する意識の高さが確認された一方で、女性のBMIが目標範囲の下限に近いという課題もみられ、今後は低栄養予防の観点から活動量に見合った食事指導をしていくことが必要です。

今回の身体計測と食生活及び身体活動に関するアンケート結果に基づき、参加者全員へ「今後の生活のアドバイス」として個別送付したところ、「今後も本会の事業に参加したい」等、感謝の言葉が事務所に届きました。

今後は、高い運動意識を維持しつつ、「しっかり動いて、しっかり食べる」という低栄養予防の観点を強化し、地域特性に応じたきめ細やかな支援を展開していきたいと考えております。
(文責：吉岡美子)



開催地域と日程および参加者数

開催地域	日程	会場	参加者数
① 久慈会場	9月10日(水)	久慈市マリニアリーナ	61名(男性5名・女性56名)
② 盛岡会場	9月11日(木)	アイーナ	67名(男性12名・女性55名)
③ 一関会場	9月26日(金)	アイドーム	64名(男性15名・女性49名)

内容(3会場共通)

- ・ 講演「高齢者の身体活動不足ならびに座位行動の解消に向けて」
早稲田大学スポーツ科学研究科 教授 岡浩一郎先生
- ・ 講話「高齢者の筋力アップのための食事について」
スポーツ科学センター公認スポーツ栄養士
高井 恵理先生
- ・ 実技「家庭で簡単にできる運動」
早稲田大学スポーツ科学研究科 教授 岡浩一郎先生
青森県立保健大学健康科学部 教授 安永 明智先生



365日サイクル
クックチル献立

すこやか

医療・福祉施設向けに特化したこだわりの食事を安定的にお届け。
厨房運営や病院経営の課題に合わせてトータルにご提案いたします。
詳しいサービス内容や料金などはお気軽にご相談ください。

ナリコ エンタープライズ

北東北営業所
Tel: 075-748-6758 FAX: 019-656-8132

Food for better Quality of Life

業務用食品流通サービス
株式会社 モリレイ

株式会社モリレイは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

■ 本社(本店) ■
岩手県紫波郡矢巾町広宮沢11地割506番地2
TEL 019-638-9814 FAX 019-637-0369

■ モリレイ営業所 ■ 宮古 一関 八戸 弘前

■ グループ会社 ■ 株式会社アキレイ・秋田営業所

<http://www.morirei.co.jp>

健康的な食事サポート環境整備事業

栄養ケアステーション部長 吉田 知子

本事業は循環器病の最大の危険因子である高血圧症を予防するため、令和4年度から県の委託により進められています。栄養バランスと減塩を両立した「健康的な食事」の普及に向け、現在、県内スーパーと協力してお弁当・総菜開発の第2弾を検討中です。新商品は、1食で「野菜120g以上」「塩分2.5g以下」を掲げ、「おいしく食べていたら、いつの間にか減塩できていた」という全世代向けの商品を目指しています。物価高騰の課題はありますが、スーパーの担当者と一緒に取り組んでいます。完成した際はぜひご試食ください。

岩手県の令和6年度国民健康・栄養調査の食塩摂取量は男性11.0g、女性9.7g（全国男性10.5g、女性8.9g）と高く、0.1gでも下げる工夫が必要となります。特に盛岡市は「中華麺」等の購入額が全国トップクラスであり、県民の麺類嗜好は非常に強いものがあります。栄養士会のイベントで実施した麺類の利用状況と塩分の意識に関するアンケート結果を踏まえ、「麺類の賢い食べ方」の提案など、食環境の整備を推進してまいります。

今後は、店舗での啓発イベントや、食品製造関連会社等を対象とした「減塩の取り組み事例」に関するワークショップを開催予定です。

東北栄養士会合同 日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT) スタッフ養成研修会

副会長 金谷 明美

大規模自然災害発生時に被災地で栄養・食生活支援活動を行うために、青森、秋田、岩手、宮城の栄養士会が、合同でJDA-DATスタッフ養成研修会を開催しました。

事前に13時間のオンデマンド研修を受けた29名が、令和7年9月28日（日）10時から盛岡中央消防署で普通救命講習Ⅰを受講し、応急処置・救急、胸部圧迫やAEDの使用手順等を学びました。胸部圧迫は絶え間なく継続して行うことが重要なため、支援者同士が声をかけあい交代しながら行いました。午後は、アイーナに移動し、JDA-DATあおりリーダーの齋藤長徳氏による講義「JDA-DAT活動」、宮地博子氏による発表「青森県災害訓練に参加して」の後、演習「避難所および被災者の食事状況調査」を行いました。

演習では、避難所の状況を把握し、栄養・食生活支援に繋げるための「集団的アセスメント」と「個別アセスメント」「避難所食事状況調査票の記入」についてディスカッションしました。集団的アセスメントは、避難所の栄養・食生活支援に必要な情報について、個人アセスメントは、食欲不振の高齢者や食物アレルギーのある小児の支援方法について活発な意見交換をし、多くの気づきが得られました。

合同研修により、岩手県から14名のスタッフが誕生しました。いつ発生するかわからない災害に備え、今後も近隣県と連携し災害支援活動に貢献できるよう育成と養成に努めたいと思います。



人も地球も健康に
Yakult



ヤクルトマン

岩手ヤクルト販売株式会社
〒020-0125 盛岡市上堂4-3-4 TEL.019 (641) 8960

NAKANISHI

ナカニシは学校給食、病院給食、企業や大学の食堂、
外食など業態ごとのキッチンシステムをトータルにご提案します。

人と人を笑顔でつなぐ



株式会社 中西製佐所 盛岡営業所
〒020-0839 盛岡市津志田南二丁目2番38号
TEL: 019-639-1671 FAX: 019-639-1677

医療・福祉職域合同研修会

～誤嚥を防ぐポジショニングと食事介助のための技術研修～

福祉（高齢）職域担当理事 志田 香代

「対象者が食べられないのは、食事が食べにくいから」と言われた経験はありませんか？嚥下機能に合わせた嚥下調整食を提供しても、その先のケア（ポジショニング・食事介助）が合っていないと安全な摂取が難しくなります。摂食嚥下ケアをするにあたり、嚥下調整食・ポジショニング・食事介助はどれも大切なことです。栄養士も摂食嚥下ケアチームの一員として、これらのケアを深く知る必要があると考え、令和7年10月11日（土）、講師に、摂食嚥下障害看護認定看護師の岩手医科大学附属病院 柿澤良江先生、青森敬仁会病院 丹藤淳先生をお招きし、実技用のベットを備えた岩手医科大学矢巾キャンパスのシミュレーション室にて研修会を開催しました。

ポジショニング・食事介助の実技研修という、栄養士会の研修としては珍しい内容にもかかわらず、会場・Zoom合わせて52名と多くの方に参加いただきました。演習では「こういう場面があるよね」という事例が沢山あり、参加者が自身の病院・施設の対象者を想像しながら、熱心に説明を聞いている様子が伺えました。アンケートでは、「姿勢が斜めになっていたり、足がつかなかったり、食べにくい原因が思い当たり、介護職員に伝えたい」「患者さんにできるアドバイスや知識として重要だと思った」「もっと質問したかった」等の声をいただきました。今後も皆様の業務に繋がる研修会を開催していきますので、ぜひご参加ください。



学校健康教育職域研修会

～「栄養教諭の学び方」研修会～

学校健康教育職域担当理事 飛塚 美智子

令和7年11月15日（土）、学校健康教育職域の研修会として「栄養教諭の学び方」研修会を開催しました。午前は、広島県廿日市市立吉和小学校の栄養教諭・大田和子先生による講義「栄養教諭の学びの場“ひろラボ”～『主体的、対話的で深い学び』の創設に向けて」が行われました。

資質向上や若手育成を目的とした“ひろラボ”の立ち上げに込められた思いや実践を通して、学び続けることの大切さや、定番授業のブラッシュアップにつながる工夫を学びました。参加者からは「学び続けることの大切さ」「子ども達のために自らの学びを止めないこと、学校給食の管理のスリム化、横のつながりを大切に、常に学んでいくことが大切であることを学びました。」といった声が聞かれ、今後の実践への意欲が高まりました。講義後には教材・献立交流を行い、参加者同士のつながりも深まりました。



午後は演習とICT活用研修として、生成AIの基礎を学び、実際に業務改善に役立つツールを体験しました。プロンプト入力やカスタマイズのコツを学び、持参した指導案をAIで要約し、家庭配布資料の作成にも挑戦。多くの参加者が、生成AIの活用が業務の効率化につながることを実感し、有意義な研修となりました。

結びに、今後も県内の栄養教諭の資質向上を目指した研修会を継続的に企画していきたいと考えています。また、共に学び合える仲間をさらに増やしていきたいと思っています。

外食産業のパートナー・パワー 業務用食材の総合商社

 株式会社 **中村商会**

本社 〒024-0004 岩手県北上市村崎野13-25-11
TEL(0197)68-2300代 FAX(0197)68-2325
盛岡支店 〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南三丁目4-13
TEL(019)639-7100代 FAX(019)639-7700
一関支店 〒021-0901 岩手県一関市真柴字川戸23-2
TEL(0191)32-5600代 FAX(0191)32-5625
秋田支店 〒010-1612 秋田県秋田市新屋豊町3-21
TEL(018)827-5123代 FAX(018)838-7855
横手支店 〒013-0041 秋田県横手市大沢字前田125
TEL(0182)32-5538代 FAX(0182)33-6666

地産地消・食の安全、安心・地域貢献

 **東北フードサービス** 株式会社

代表取締役社長 室田 義男

■ 介護施設向け食品・試食会(予約)開催中!

本社 盛岡市上田字岩脇1番地14
TEL:019-656-1221 FAX:019-656-1228
<https://www.ffs-i.com>

盛岡地区会

担当理事 江刺家 誠

盛岡地区会では10月18日（土）雫石町で行われたしずくいし産業まつり2025に参加してきました。雫石町健康推進課主催のブースで、しずくいし健康（けんこう）フェスと銘打って、地域住民へ健康の意識向上や促進を目指し実施されました。当日は220名の来場者があり、ブース内では骨密度測定やベジチェック、体重計による筋肉量や脂肪量の測定、食育クイズ、栄養相談等が行われました。

来場者の方と実際に接して、健康意識が高い方がやはり多かった印象です。日々の健康を維持するために頑張るのではなく、意識しなくても健康でいられる事が理想だと考えています。その為には、栄養・食事をはじめ、健康についての知識や情報の普及活動、教育をこういった活動を通じて浸透させていくことが大事です。

これからも、栄養と食事の専門家として人々に貢献していきたいと思えます。



イベント名	期 日
しずくいし産業まつり2025	10月18日(土)

沿岸地区会

担当理事 佐藤 香織

沿岸地区は、宮古、釜石、大船渡の3つの地区で、健康づくりの集いや産業まつり等のイベント、地域の講習会に合わせて実施し、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の方たちにご参加いただきました。

食べ物カードを使用した塩分ランキングでは、皆さん麺類の塩分が多いのは理解していましたが、いなりずし等に含まれる塩分やカレーライスに含まれる塩分量について知らない方も多く、「こんなに塩分多いんだ」とびっくりしていました。

また、食生活改善推進員による野菜摂取量測定やInBody測定には多数ご参加いただき、体の中身が見える化することで、自分の健康管理に役立てていただく等、大変盛況に終わりました。



イベント名	期 日
宮古「栄養の日」活動	10月19日(日)
釜石市健康づくりのつどい	11月24日(月・振休)
大船渡市産業まつり	10月11(土)・12日(日)
住田町文化・産業まつり	10月26日(日)

県南地区会

担当理事 高橋 京子

県南地区会では、花巻市、北上市、遠野市、奥州市、一関市、西和賀町、平泉町の7地区で、薬剤師会や保健所、市町のイベントと連携し活動を行いました。今年度も「今より減塩、もう一品の野菜料理」をテーマに、塩分クイズ、麺類に関するアンケート、栄養相談、野菜100gの配布を実施し、どの会場でも栄養士会のブースは好評でした。おひとり暮らしの方、働き盛りの方、子育て中のご両親とお子さんなど、たくさんの方にご参加いただき、楽しく交流しながら、地域に求められる栄養士会としての役割を実感する機会となりました。

また、この取り組みは会員同士の情報交換できる貴重な場にもなっています。日々、一人配置で悩みを抱えている方も、仲間と一緒に活動することで新しい気づきや励ましが得られます。是非、私たちと一緒に地域の健康づくりに取り組んでみませんか。



イベント名	期 日
平泉町健康チェック教室	10月3日(金)
西和賀町福祉まつり	10月5日(日)
奥州市前沢商工会まつり	10月18日(土)
花巻市薬剤師会健康まつり	10月19日(日)
一関農業まつり	10月25日(土)
遠野市「食育まつり」	10月26日(日)
北上市「食育まつり」	11月8日(土)

県北地区会

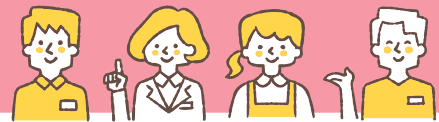
担当理事 堤内 和子

県北地区会は二戸地区（二戸市、一戸町、軽米町、九戸村）と久慈地区（久慈市、洋野町、野田村、普代村）に分かれ、地区の文化祭や健康づくり大会等で活動しました。会場に栄養相談コーナーを設け、野菜摂取量測定後、地域の方々に適塩の大切さや栄養バランス、野菜摂取量アップについてアドバイスをしました。回数を重ねることで住民の意識が高まっていると感じました。

今後も地域住民の健康課題に沿った活動が出来るよう、常に最新の情報を取り入れ、住民の声を聴ける機会を大事にし、栄養の専門家として活動していきたいと思えます。



イベント名	期 日
にのへ健康フェスティバル	10月19日(日)
くのへ健康フェス	11月16日(日)
洋野町健康づくり大会	8月30日(土)
塩加減もあまちゃん♪減塩フェスタ久慈	11月8日(土)



八幡平市福祉部健康こども課
阿部 朱璃

私は管理栄養士として、令和4年度に八幡平市に採用となりました。

主に母子栄養や食育推進、食生活改善推進員連絡協議会の事務局を担当しています。

様々な事業を実施していく中で、食生活の多様化や家庭環境の変化に伴い、郷土料理の継承が課題であると感じ、令和5年度より、新たに「郷土料理教室」を開催しています。教室では食生活改善推進員と連携し、手打ちそばやひつつみ汁など、八幡平市の郷土料理の調理実習を行っています。小学生から高齢者まで幅広い年代の方々、そして外国人の方々にも参加していただき、郷土料理を多くの人に知っていただく良い機会となっています。

今年度は、新たな食育の場として、小学校の家庭科クラブを対象に郷土料理教室を行いました。クラブ活動の時間を利用し、へっちょこ団子を作りましたが、へっちょこ団子を知らないという児童も多くいました。初めて作る団子に苦戦している様子も見られましたが、「おいしい」と喜んで食べている姿を見ると、子どもの頃から郷土料理に触れる機会の重要性を感じました。

郷土料理の伝承に取り組む中で、私自身も知らない郷土料理が多くあると感じています。また、郷土料理教室の参加者や食生活改善推進員から、郷土料理のいわれや、実体験を交えた郷土料理にまつわるお話を聞くことができ、新たな発見につながっています。今後



も住民に地域の食文化を伝え、食への関心を高められるよう、日々学び続け、行政栄養士として成長していきたいと思っています。



盛岡大学 栄養科学部
中村 光莉

私は、管理栄養士養成施設校において、実験および実習の助手として勤務しています。大学を卒業し、管理栄養士の資格を取得後は、特別養

護老人ホームや介護老人保健施設に勤務してきました。その後、縁あって母校である盛岡大学に戻り現在に至っています。

助手の仕事は、主として実験・実習の準備です。担当の先生との打ち合わせを密に行うことで、学生が授業内容を理解し、目的を達成できるような事前準備を心がけています。学生にとって、授業は一回一回が貴重な学びの機会です。だからこそ、私自身も常に最新の情報に目を向け、一緒に学び続ける姿勢を持ち続けたいと考えています。

担当する科目は数年ごとにも変わりますが、前任の助手から不明点がなくなるまで引き継ぎしてもらえるので、それほど不安もなく新しいことに挑戦できる環境です。急な休みの際なども互いに助け合って働いているので、同僚の存在はとても大きいです。

私が最も大切にしていることは、「学生だった頃の自分」を忘れないことです。実験や実習で仲間と協力した経験や、国家試験に向けて努力した日々は、現在の自分の原点です。これからも初心を忘れず、学生たちに寄り添って学びを支えていきたいと思っています。

大学に勤めていて、何よりも嬉しいのが、卒業生の活躍です。岩手栄養改善学会などで会ったり、各種メディアに取り上げられているのを知ったりすると、皆さんも同じ岩手で管理栄養士・栄養士として頑張っているんだと励みになります。何かの機会にお会いすることがあったら、ぜひ声をかけてくださいね。お互い近況報告をしましょう。



感染症ハイリスク超高齢社会の対策強化へ 高精度な予防検査をご提供致します



登録衛生検査所
株式会社 日本微生物研究所

〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町 2 丁目 3-36
TEL 022-783-8471 FAX 022-783-8433

編集後記

「栄養いわて」いかがだったでしょうか？昨年度から紙面をリニューアルし、最新の栄養情報やあらゆる分野・職域で活躍する栄養士の皆さんの様子をご紹介いたしました。2026年私たち広報部は「情熱」「行動力」「挑戦」をキーワードに、会員の皆さんに興味をもってもらえるよう、HPやインスタ等を通じて、旬な話題をタイムリーにお伝えしていきたいと思っています！（広報部：佐藤）

入会案内

こちらから入会案内をダウンロードして、新入職員・未入会の方にご案内ください。



Instagramで会の活動を配信中です。

